

30年間の「ありがとう」を、これからも。

ある統計によると、お客様がモデルハウスに足を運ぶきっかけを調べたところ、スウェーデンハウスの場合は「オーナーの皆様の口コミ」が圧倒的に多いことが分かりました。スウェーデンハウスの魅力とは？本誌巻末連載『ウフフの我が家』のコピーライターが、オーナー代表として、岡田社長に現在の心境と決意をうかがいました。



スウェーデンハウス株式会社
代表取締役社長

岡田 正人

お客様にまで遡って対象にされました。

私たちにしてみれば当然のことです。もともと、1棟目から、全国どこでも全ての家が「最高の品質」にこだわったワンस्पекのみで展開してきましたから、導入しやすかったことも事実です。

安心して暮らしをお楽しみいただくにはアフターメンテナンスは必要不可欠です。会社としての負担は決して小さくありませんが、それが我々の使命であり、やりがいなのですから、これらの取り組みはずっと続けます！地球が滅亡するまでね（笑）。

——そこまできっぱり言っていたけると、オーナーとしての自慢がまた一つ増えます。

口コミは、良いことも悪いことも説得力をもって伝わっていきます。ここでウフフさんに喜んでいただけると私もほっとします。

——ところで、世の中スマート流行りですが、スウェーデンハウスではどのようなお考えですか？

環境に優しい家に「スマート化する」

ということが注目されているのは、地球環境にとって良い流れだと思っています。けれど、家のあり方として、スウェーデンハウスの場合はもともとの性能が省エネで環境に優しい…最初からスマートなのですから、ちよつと土俵が違います。

実は、今年の秋を目指して、スウェーデンハウスに適した、人工知能を使ったシステムを開発しています。計算上の数値ではなく、実際にお住まいのお客様のお宅で取らせていただいているデータを基にして開発を進めていますから、現実的です。そしてもちろん、第1号のお客様からお使いいただけます。

——新たな取り組みが始まるのですね。築7年の我が家でも、同じようにその新システムが使えると聞いて、わくわくします。

築7年ですか。私も遅ればせながら昨年スウェーデンハウスのオーナーになりました。想像以上に心地良い家だと実感すると同時に、よくオーナーの皆様がおっしゃる「快適性能が備わっているからこそ、暮らしを楽しむことができる」ということが、どうい

——30周年おめでとうございます。今のお気持ちを聞かせください。

ありがとうございます。初めに、オーナーの皆様にお礼を申し上げます。この住宅に惚れ込んだ創業者が、北海道で事業を始めてから30年、特に関東ではその高い性能がオーバースペックと揶揄されたこともありましたが、私たちは「最高の品質」にこだわった家づくりを続けてきました。創業者の夢とロマンにご共感いただいた皆様に、改めて感謝をしています。確かな目をもった皆様がいらっしゃったからこそ、コマシヤルも派手に流さない弊社がこまめで愛され、成長することができました。またオーナーの皆様には、口コミやご紹介、ご自宅での内覧会など、お世話になってばかりです。素晴らしい情報もたくさんいただいています。これからもご期待に沿える「スウェーデンハウス」になるよう努力しなければ、と決意を新たにしています。

——本当に、家を建ててからもオーナーを大切にしてくださいね。2000年に導入したヒュースドクトル50（50年間無料定期検診システム）は、第1号の



のか良くわかります。スウェーデンハウスに住んでおられる方は、個性を活かし、自分らしく日々を過ごしておられます。私はと言えば…正直なところ、今はなかなかゆつくりする時間がないのですが、時間が取れるようになったら思い切り楽しみたいと思っています。読みたい本もたくさんあります。仕事ばかりで家庭を顧みませんでしたから、家内にも恩返ししなければなりません（笑）。

——社長自らが暮らしを楽しもうとしておられるというのは、素敵です。スウェーデンハウスのこれからに、ますます期待しています。

はい。ぜひ、ご期待ください！